

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒160 東京都新宿区  
愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者  
渡辺孝一

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 5月17日新潟で開催 '97全国骨髄バンクボランティアの集い in新潟

「人としての生き方や心のあり方を見つめ直すこと、各地ボランティアとの交流を図り、意見や情報の交換に努め、より良いボランティア活動のあり方を模索すること。さらに官民一体となった骨髄バンク推進運動の拡大を目的とする」

これが今年の新潟大会の開催主旨です。今年5月17日に新潟市において全国協議会主催(にいがた骨髄バンクを育てる会主催)によるボランティア全国大会が開かれます。これまでに骨髄バンクと全国協議会への多大な貢献のあった皆さんへの感謝状贈呈などがある他、大石邦子(歌人、エッセイスト)さんの特別講演があります。また、翌18日には、全国協議会通常総会が予定されています。

全国のボランティアは新潟に集まりましょう!

### ボランティアセミナー 各地で開催

全国協議会主催によるブロック別ボランティアセミナーが各地で開催されています。

それぞれが趣向をこらした内容で充実したセミナーとなっています。北海道、関東、中部、近畿地区からの報告です。

#### 北海道

北海道ブロックのボランティアセミナーが、3月1日(土)に札幌で開催されました。プロ

いことを話していただき、大きな反響がありました。(崑山)

#### 関東

2月22日から23日にかけて、千葉県長生郡白子町(三井白子荘)にて、全国協議会主催の関東ブロックセミナーを開催しました。(出席団体:茨城、埼玉、東京、友の会、神奈川、千葉、ゲストとして栃木の会、ナス・プロモーション)

会場は市街地からやや離れており、また当日はあいにく春の突風に見舞われましたが、当初の予想をはるかに上回る33名もの出席があり、主管団体である千葉骨髄バンク推進連絡会としては大変うれしい思いでした。千葉の梅田会長からの挨拶があり、ついで最初の講義には全国協議会運営委員(所属:公的骨髄バンクを支援する東京の会)である新田泰平氏から「白血病フリーダイヤル」について、世話役の立場から詳細な説明がありました。課題として従前から同ダイヤルの存在の周知を行ってきたが今後も努めたいと締めくくられました。

ついで千葉の会の西河内靖泰氏から「ボランティアについて」、無償性との関係や、とくに当事者(患者)団体との関係についての考え方の一つが示されました。

翌日、千葉県子ども病院血液腫瘍科医長である沖本由理先生から「臍帯血移植その他」として、いわゆるへその緒を利用した造血幹細胞の移植医療について説明がありました。初心者である私たちにもわかりやすく説明してくださったので、会場からは質問が相次ぎました(先生は



新田運営委員による「白血病フリーダイヤル」の報告と意見交換

平成9年2月21・22日に愛知・岐阜・静岡・大阪・三重の各団体18名が参加し開催しました。急なことで旅館の確保が難しく、会場は久居市にある日本三大名泉の榊原温泉「神湯館」で、平日金曜日の夕方集合し、2日目は、私どもが開催する「演劇&骨髄バンクトークショー in 四日市」に参加していただき今後の活動の参考にしてくださいました。当日、各地から集めいただいた皆さんと早速懇親会を開き、各会の事業

#### 中部・近畿

内容と今後の活動計画などを報告しあい楽しく過ごしました。翌朝目を覚ますとびっくり、銀世界です。シンポジウムの資料を四日市に運ぶため、早々に出発。スリッパしながら、交通渋滞の中を何とか二時間遅れで到着し、無事開会に間に合いました。

#### 韓国との協力関係に前進

このシンポジウムは、骨髄移植を待つ高校生をテーマにした演劇「華」の初演でしたが非常に好評で、またその後の大谷さんを中心としたパネルディスカッションも、飛び入りで移植を受けた方、待つて見える方、提供された方の発言があり盛り上がりたものになりました。各地の方からも励ましと賞賛の声をいただき、無事シンポジウムとセミナーを終了できました。(三重・海住)

#### 2件の要望書を提出

全国協議会及び加盟団体は、3月下旬に次の2件の要望書を提出しました。

#### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●ドナー登録時の一次・二次同時検査の実施について  
これまでのHLA検査は一次検査でA座・B座を調べ、患者さんと適合した場合に二次検査でDR座を調べる二段階の検査方式でしたが、4月より登録時に同時検査する方式に変わります。国の平成9年度予算が年内に成立する見込みとなったため4月初旬より実施の予定です。ドナー登録希望者の負担の軽減や登録しやすい環境づくりに進むこととなります。ついてはパンフレット及び登録説明ビデオの内容を一部改定します。

●新規ドナー登録者数、拡大回復基調へ  
新規ドナー登録者は平成7年7月より月間1,000人を下回る状況が続いていましたが、昨年7月以降の公共広告機構キャンペーンや各地での地道な取り組み、2月の全国一斉キャンペーン等の効果で、月間1,400人となりました。

韓国との協力関係に前進  
大谷 貴子

在日大韓民国婦人中央本部の金定子会長をはじめ役員の方々と初めてお会いしたのは1月半ばでした。自らもドナー体験者であるカメラマンの桐野江直樹さんが仲介役となり、骨髄バンクの歴史や理念などを私から話してほしいというのです。その場で、たちまち2月9日の一千例記念キャンペーンへの婦人会の参加や、海部幸世会長との昼食会につながりました。

3月16日に東京にて開催された第58回運営委員会の主な報告・協議内容は次の通りです。

●国際協力事業の開始準備状況 (NMDP) 全米骨髄バンクとの国際協力事業の開始に向けて、3月28日に京都で開催される日本血液学会で骨髄移植認定施設(移植医)への説明会を行います。4月には主治医を通じ、患者・家族向けに説明資料を配付します。

2月末現在検査済みドナー登録者	80,898人
2月末現在患者登録者	4,931人
2月末現在移植件数	1,055例

★骨髄バンクへのお問い合わせは★  
フリーダイヤル0120-377-465

●報告事項  
・台湾バンク訪問報告  
・千例達成キャンペーンアンケート集約報告  
・ホームページ掲載内容について  
・厚生省、財団への要望書について

●協議事項  
・総会・全国大会について  
・新レカの作成、在庫品の活用について

●報告事項  
・台湾バンク

# 心からのご寄付を ありがとうございました

2月13日～3月24日

日新大災海上保険(株) 総合企画部営企広報グループ	切手	28,563円
西豆骨髄バンクを支援する会	現金	100,000円
相田照男	現金	1,575円
阿原一良	現金	20,000円
ナカノヤスコ	現金	6,000円
久野哲弘	現金	2,500円
山井薫	現金	300,000円
山崎久江	現金	5,000円
高橋	現金	30,000円
稲次康三	現金	2,000円
匿名	現金	US\$1,000
光陽商事	現金	200,000円
木田治男・春子	切手	9,000円
◆佐藤さち子患者支援基金		
大伴隆一	現金	370円
太田彦人	現金	600,000円
◆あやちゃん基金		
大伴隆一	現金	501円

## 活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 566655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会



第3部はクラシックコンサート

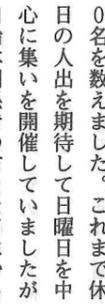
2月26日(水)、県と茂原市と共催で茂原市東部文化会館にて開催しました。県の推奨にもなった劇映画「金色のクジラ」を上映したあと、バンクを紹介して一昨年骨髄提供した当会の梅田会長が自身のドナー体験を交えながら講演しました。会の活動のひとつは骨髄採取の場面などもOHPを使い、映画と併せて視覚的効果は大きかったと思います。一般市民のほか保健所職員の方々などの来場も多く、また茂原商工会議所の方々のご協力もあって参加者は250名を数えました。これまで休日の人出を期待して日曜日を中心に集いを開催していましたが自治体関係者の方々などにはむしろ平日の方が参加しやすいようです。我々ボランティアの多くは勤め人なので仕事を休むに苦しみもありましたが、今回の平日開催はターゲットを変えて休日開催とは異なる層にアピールでき、有効でした。(飯島)

## 千葉 県民の集いin茂原

2月26日(水)、県と茂原市と共催で茂原市東部文化会館にて開催しました。県の推奨にもなった劇映画「金色のクジラ」を上映したあと、バンクを紹介して一昨年骨髄提供した当会の梅田会長が自身のドナー体験を交えながら講演しました。会の活動のひとつは骨髄採取の場面などもOHPを使い、映画と併せて視覚的効果は大きかったと思います。一般市民のほか保健所職員の方々などの来場も多く、また茂原商工会議所の方々のご協力もあって参加者は250名を数えました。これまで休日の人出を期待して日曜日を中心に集いを開催していましたが自治体関係者の方々などにはむしろ平日の方が参加しやすいようです。我々ボランティアの多くは勤め人なので仕事を休むに苦しみもありましたが、今回の平日開催はターゲットを変えて休日開催とは異なる層にアピールでき、有効でした。(飯島)

## 福岡 レディースロードレース

2月23日、雲一つ無い快晴の日曜日。平和台陸上競技場をスタートとする第12回福岡けやき通りレディース・ロードレースが開催され、1464名の女性ランナーが福岡の街を快走しました。今年も西日本新聞社様のご協力で本部席付近にテントをお借りし博多陸友会の谷垣初枝さん、中野田鶴子さんを中心としたメンバーの皆さんと共に骨髄バンクのPR活動に努めることになりました。中野さんは毎年お忙しい時間を割いて骨髄バンク支援のためにランナー用にと、前後にひさしのついた帽子や手首に巻き付ける小銭入れ等を自らの手作り得意意され、販売し全売上を骨髄バンクに寄付されています。この品物が好評で多くの人がテントを覗き、購入していかれます。



平日でも大盛況の会場

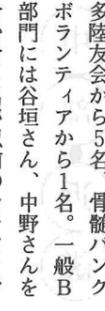
とができました。中野さんは毎年お忙しい時間を割いて骨髄バンク支援のためにランナー用にと、前後にひさしのついた帽子や手首に巻き付ける小銭入れ等を自らの手作り得意意され、販売し全売上を骨髄バンクに寄付されています。この品物が好評で多くの人がテントを覗き、購入していかれます。

## 兵庫 意見交換会開催

昨年6月に関西骨髄バンク推進協会主催で近畿地区意見交換会を行い、府県単位でもこのような会を持ち続けたいという多くの参加者から意見が出されてきました。今回3月12日神戸骨髄献血の和を広げる会と姫路地区骨髄バンク推進センターの主催で兵庫、神戸市、姫路市、洲本保健所、335Dライオン

## 東京 「金色のクジラ」大成功のチャリティー上映会

江戸川区の江戸川総合文化センターにおいて、3月8日(土)映画「金色のクジラ」のチャリティー上映会が開かれました。同区においては、ライオンズ国際協会330A地区の大きなバックアップと、江戸川区教育委員会のご協力により、全区小学生児童約3万3千人に、映画のチラシが配付された経緯もあり、映画上演時間には千人を超える区民・児童が集まりました。

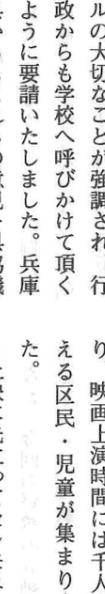


「金色のクジラ」大成功のチャリティー上映会

スクラブ、相生青年会議所にボランティアが加わり、ドナー登録促進の方策について意見交換会を開催しました。会場は兵庫県データセンターでしたが、データセンターの方から冒頭に「こんなに味方がいるのは心強いなあ」との感想は、まさに参加者の実感でした。これだけの関係者が力を合わせればいい仕事ができるはず。あらかじめ出ていた意見書に基づいて会は進められました。若い世代、特に高校生・大学生へのアピールの大切なことが強調され、行政からも学校へ呼びかけて頂くように要請いたしました。兵庫県からもこれらの意見を県協議会へ反映していきたいという心強い発言を頂きました。今後もこの意見交換会は定期的に継続の予定です。(姫路・松本)

## 遠藤 允の会報づくり講座その①

●はじめに  
日刊新聞記者の最後の3年を整理部で過ごした。レイアウトと見出しづくりを担当する部署だ。その成果は、記者時代を含めて3年つとめた公立小学校PTA会長時代に存分に生かされた。毎日新聞主催のPTA新聞コンクールなどで「ダブル日本」に輝いたのである。



遠藤 允の会報づくり講座その①

ただ、PTAの場合は単にレイアウトが優れているだけでは評価されない。つまり、広報紙にはPTA活動がそのまま反映されるので、不活発であったり非民主的運営が進められているPTAでは、評価に値する広報紙はつくれないことになる。

フジテレビを  
見て見ぬふりは  
やめましょう。

フジテレビ

●新日本おはなしの本たな⑩  
あやちゃんの  
スケッチブック

白根厚子作・藤本四郎絵 定価1400円  
白血病のため七才で亡くなったあやちゃん。苦しい闘病生活の中でも手はなされたスケッチブックには八千枚の絵が残されました。

新日本出版社  
03(3423)8402営業

「各地のたより」欄は、活動の積極的な投稿を

「患者家族電話相談」  
白血病フリーダイヤル  
バンクに トウロク  
0120-892-106  
毎週土曜日10時～16時

「各地のたより」欄は、活動の交流の場です。編集委員会では、毎回原稿の依頼もしていますが、自主的・積極的に投稿してくれるようお願いいたします。字数は三百字程度、写真も添えて下さい。